

- VOL. 26**
- NO. 1 脊椎脊髄疾患の診断と鑑別診断のための電気生理学的検査
 - NO. 2 高齢者における非骨傷性頸髄損傷
 - NO. 3 後縦靱帯骨化症—基礎・臨床の最新動向
 - NO. 4 〔特大号〕脊椎脊髄の解剖と疾患
 - NO. 5 脊椎脊髄難治性疼痛に対するさまざまな治療
 - NO. 6 加齢と姿勢異常
 - NO. 7 足の特異な症候
 - NO. 8 脊椎・脊髄外科における術中イメージングの update
 - NO. 9 胸腰椎移行部病変の病態と手術
 - NO. 10 環軸椎高位の症候学と再建術
 - NO. 11 頸椎椎弓形成術の過去・現在・未来
 - NO. 12 腰痛診療ガイドライン—その意義と活用について
- VOL. 27**
- NO. 1 脊椎脊髄疾患診断のための神経症候学の基本
 - NO. 2 ニューロリハビリテーションにおけるサイエンス—臨床と研究の進歩
 - NO. 3 脊椎骨粗鬆症・圧迫骨折に対する治療戦略—薬物治療を中心に
 - NO. 4 〔特大号〕脊椎脊髄の科学—基礎と

- 臨床の進歩 Review 2014
 - NO. 5 髄膜の病態が重要な疾患
 - NO. 6 頸椎前方徐圧固定術—術式のスタンダードと進歩
 - NO. 7 脊柱管内出血性疾患
 - NO. 8 痙性対麻痺
 - NO. 9 脊椎疾患の自然経過と治療選択
 - NO. 10 胸腰仙椎後方 instrumentation の進歩
 - NO. 11 嚥下障害の発生メカニズムと治療
 - NO. 12 脊柱側弯症 up to date
- VOL. 28**
- NO. 1 椎間板と痛み
 - NO. 2 Spinal dysraphism—最近の知見
 - NO. 3 「偽性局在徴候」からみた脊髄・馬尾・神経根症状
 - NO. 4 〔特大号〕脊椎脊髄の冠名徴候・症候群
 - NO. 5 最小侵襲脊椎安定術 (MISt) の実際
 - NO. 6 脊椎脊髄の感染・炎症
 - NO. 7 臨床現場での脳・脊髄連関
 - NO. 8 脳脊髄液—どこからどこへ
 - NO. 9 各種頸椎低侵襲手術の限界と適応
 - NO. 10 脊髄嚢胞性疾患に対する外科治療
 - NO. 11 首下がり症候群の病態と治療

読者の意見 (Letters to the Editor) 原稿募集

本誌では「読者の意見 (Letters to the Editor)」を設けております。読者交流の場として意見交換にご利用いただきたく、下記の要領で編集室宛に原稿をお寄せください。また、読者アンケートを三輪書店のウェブサイト (URL: <http://www.miwapubl.com/>) で受け付けておりますので、ご協力をお願いいたします。

趣 旨

- ①掲載論文に対する意見。
- ②編集方針に対する意見、希望など。
- *①に関しては、著者側からのコメントも掲載いたします。

執筆内容

- ①本文は図表も含め 1,200 字以内 (文献は 3 文以内、写真・図・表は 1 点以内とし、その数に応じて本文を減じてください)。
- ②筆者名、所属名を明記してください。
- ③著者側からのコメントは 600 字以内。

採 否

編集委員会で決定いたします。不採用の場合は速やかに連絡いたします。また、採否のいかんにかかわらず、原稿は返却いたしません。

そ の 他

- ・論文掲載後 6 カ月以内に意見をお寄せください。
- ・文章は書簡の形式 (口語体) としてください。
- ・原稿は多少の字句の変更をさせていただくことがありますので、ご了承ください。
- ・採用の場合は掲載誌 1 部をお送りいたします。

『脊椎脊髄ジャーナル』編集委員会